

県内景況は、下げ止まりつつも先行き不透明

需要喚起策効果により一部業種で持ち直すも、依然として厳しい

～景況 DI 値前月比不変、前年同月比55.2ポイント低下～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 10月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比で47.4ポイント上昇、前年同月比では52.4ポイント低下。非製造業では、前月比で同水準、前年同月比では5.3ポイント低下。

在庫数量 製造業では、DI 値前月比で5.3ポイント低下、前年同月比では26.3ポイント低下。非製造業では、前月比、前年同月比ともに同水準。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比で5.2ポイント低下、前年同月比では21.0ポイント低下。非製造業では、DI 値前月比、前年同月比ともに同水準。

取引条件 製造業では、DI 値前月比で同水準、前年同月比では5.3ポイント低下。非製造業では、前月比で同水準、前年同月比では21.1ポイント低下。

収益状況 製造業では、DI 値前月比で15.8ポイント低下、前年同月比では63.2ポイント低下。非製造業では、前月比で同水準、前年同月比では47.4ポイント低下。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比で同水準、前年同月比では36.8ポイント低下。非製造業では、前月比で同水準、前年同月比では36.9ポイント低下。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比で同水準、前年同月比では21.1ポイント低下。非製造業では、前月比で5.2ポイント低下、前年同月比では15.8ポイント低下。

景況 製造業では、DI 値前月比で10.6ポイント低下、前年同月比では63.2ポイント低下。非製造業では、前月比で10.5ポイント上昇、前年同月比では47.4ポイント低下。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比で同水準、前年同月比では55.2ポイント低下となった。製造業では、GoTo キャンペーン等需要喚起策に伴い、観光に関連する食料品や印刷業等で回復傾向の兆しが見えているが、繊維工業、金属加工、鉄骨加工等では、依然としてコロナ禍による減少が続いている。非製造業では、旅館・観光関連で GoTo キャンペーン等需要喚起策により持ち直しの動きとなったが、GoTo キャンペーン関連以外の業種はコロナ禍による落ち込みが増している。県内景況は、下げ止まりつつも先行きは不透明。国等の需要喚起策の効果により一部業種で持ち直すも、依然としてコロナ禍により厳しい状況が続いている。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

10月の全国倒産は、件数647件と、3カ月連続の前年同月比減少、負債総額669億4,800万円（負債総額1,000万円以上）で、3カ月連続の前年同月比減少となり、10月としては比較可能な2000年以降最小となった。不況型倒産の合計は499件、構成比は77.1%、負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は430件、構成比は66.5%を占めた。

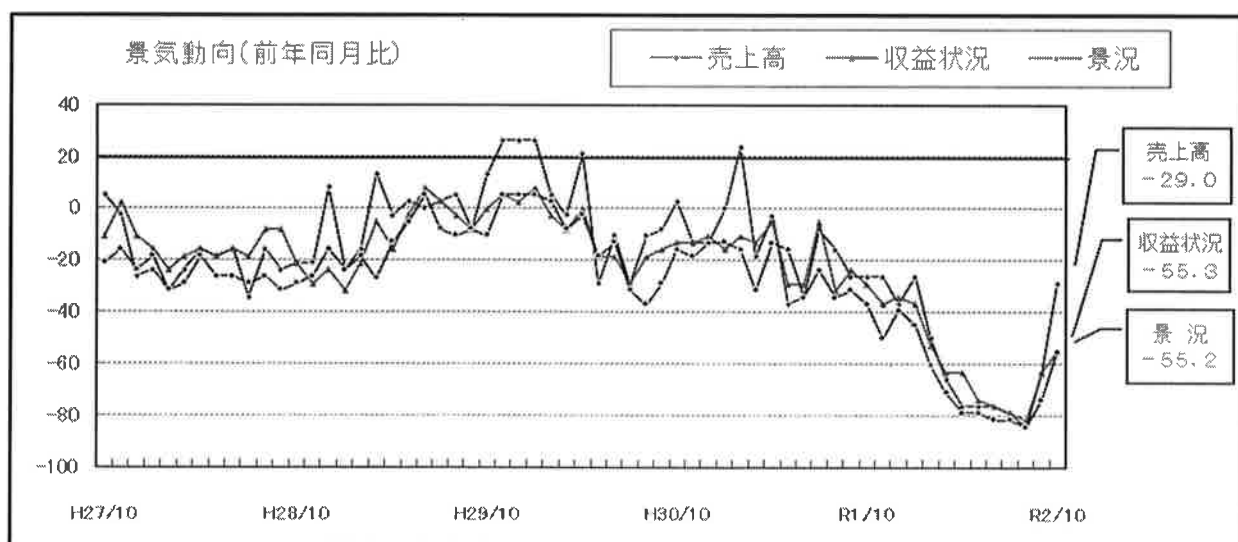
一方、10月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月0件）、負債総額は11億円（前月0円）で、業種別では、製造業1件、小売業1件、主因別では、販売不振2件となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報9月分」）

鳥取県の9月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.19倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.03倍）で、前月より0.01ポイント低下した。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.13倍、米子所1.29倍、倉吉所1.22倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.28倍（季節調整値）で、前月より0.20ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比19.5%減少し、有効求人数は27.2%の減少となった。産業別に前年同月で比較すると、すべての業種で減少した。

新規求職者数は、前年同月比9.4%減少し、有効求職者数は4.1%増加した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.20倍で、前年同月を0.59ポイント下回った。新規求人数は前年同月を25.4%下回った。



10月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	63.2%	15.8%	47.4 42.1	36.8%	36.8%	0.0 -5.3	50.0%	26.3%	23.7 18.4
(2) 在庫数量	10.5%	15.8%	-5.3 5.2	16.7%	16.7%	0.0 0.0	12.9%	16.1%	-3.2 3.3
(3) 販売価格	5.3%	10.5%	-5.2 0.0	10.5%	10.5%	0.0 -26.3	7.9%	10.5%	-2.6 13.2
(4) 取引条件	0.0%	0.0%	0.0 5.3	5.3%	5.3%	0.0 0.0	2.6%	2.6%	0.0 -2.7
(5) 収益状況	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	31.6%	31.6%	0.0 21.0	18.4%	26.3%	-7.9 7.9
(6) 資金繰り	10.5%	10.5%	0.0 -10.5	15.8%	15.8%	0.0 31.6	13.2%	13.2%	0.0 10.5
(7) 設備操業度	10.5%	15.8%	-5.3 -15.9						
(8) 雇用人員	0.0%	0.0%	0.0 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	2.6%	5.3%	-2.7 2.6
(9) 景 況	10.5%	21.1%	-10.6 15.7	31.6%	21.1%	10.5 42.0	21.1%	21.1%	0.0 28.9

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	68.4%	-52.4 26.5	36.8%	42.1%	-5.3 42.1	26.3%	55.3%	-29.0 34.2
(2) 在庫数量	0.0%	26.3%	-26.3 0.0	16.7%	16.7%	0.0 16.6	6.5%	22.6%	-16.1 6.4
(3) 販売価格	5.3%	26.3%	-21.0 0.0	15.8%	15.8%	0.0 5.3	10.5%	21.1%	-10.6 2.6
(4) 取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	0.0%	21.1%	-21.1 5.2	0.0%	13.2%	-13.2 0.0
(5) 収益状況	0.0%	63.2%	-63.2 10.4	15.8%	63.2%	-47.4 5.3	7.9%	63.2%	-55.3 7.9
(6) 資金繰り	5.3%	42.1%	-36.8 -5.2	10.5%	47.4%	-36.9 15.7	7.9%	44.7%	-36.8 5.3
(7) 設備操業度	5.3%	47.4%	-42.1 0.0						
(8) 雇用人員	0.0%	21.1%	-21.1 5.2	0.0%	15.8%	-15.8 10.5	0.0%	18.4%	-18.4 7.9
(9) 景 況	0.0%	63.2%	-63.2 10.5	10.5%	57.9%	-47.4 26.3	5.3%	60.5%	-55.2 18.5

* D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ GoTo トラベルにより、旅館、ホテルからの受注が増え、コロナ禍前の7割程度まで回復してきた。

醬 油⇒ スーパーや小売店での販売は回復してきているが、飲食店向け(業務用)の販売はまだ低迷している。GoTo イートに期待している。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、例年であれば、来年春物商品が動き出す時期であるが、緊急事態宣言の時期にため込んだ在庫を新商品として販売していくメーカーも多く、生産が落ち込む可能性がある。座席シート縫製では、自動車生産ラインの稼働により、座席シートの発注も徐々に増えてきているが、防護服やマスクなど新型コロナ関連製品の売上に依存している。

ニット製品⇒ 衣料品消費については、E-コマース(ネット)分野が前年比で増加しているが、店舗小売衣料は30%以上の減少が継続している。来年春夏物商品の発注はほぼストップに近く、コロナ禍により今年春夏物商品の在庫残もあり、生産量の大幅な減少は免れない状況。

【家具装備品】

⇒ 売上高は、前月比、前年同月比ともに増加。県内新型コロナ感染者が増加傾向にあり状況は良くなかったが、今月は少し改善した。昨年、消費税増税後の落ち込みがあったため、前年同月比でも改善した。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比わずかに増加。合板の生産量も前月比で増加。丸太価格は強含みだが、需要の低迷で製品価格への転嫁は難しい。コロナ禍で低迷していた需要が動き出しているところもある。プレカット加工の稼働率は、前月比5%増加、前年同月比不変。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 少しずつではあるが、受注量が戻ってきているが、まだまだ例年通りの売上にはなっていない。これからの時期、年間を通しての一番の繁忙期であり更なる回復を期待する。

【印 刷】

⇒ GoTo トラベルなど一定の成果が上がり、良い方向に向かっている。広告制作は元に戻りつつあり、企業 PR や販売戦略など中長期の企画が動き始めている。販売価格を上げる努力をしているが、上昇とまではいえない。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 10月の生コン出荷量は、前年同月比で103%。地区別の出荷状況は、東部地区85%、中部地区105%、西部地区121%。運輸担

当や若手技術者の人材不足と設備の老朽化が進んでおりその対応が難しい。西部地区には受注残もあるが、東・中部においては大型プロジェクトがなく、秋以降の先行きに大変危惧している。県内の各工場は適正生産規模を大きく割り込んでおり、地区によっては集約化を進めるも、更なる工場集約化を進めなければ経営が難しい状況。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内中心の事業所は物件が少なく受注確保が難しくなっている。収益状況は、建材価格上昇と元請けの受注競争により厳しい状況。機械加工は、コロナ禍により、県東部の得意先の休業（雇用調整助成金申請）が続いている。休業日数が減り受注を確保している事業所もあるが、新たに休業し、雇用調整助成金申請を開始する事業所もある。

鉄骨加工⇒ 主要な事業所は、受注の山積みが年度内まで十分な量を確保しつつあるが、夏以降の受注単価下落とH形鋼の価格上昇により収益状況は大きく悪化している。今後は物件量があるなかで、新規に受注し難い状況となるため単価は徐々に落ち着いてくる。

金属熱処理⇒ 9月に回復の兆しが見えはじめ、10月にはさらに顕著になってきた。概ね回復傾向にあり、顧客によっては前年を上回ることもある。景気回復の動きは自動車や建機にみられるが、自動車関係でも回復が遅い事業所もあるほか、日立金属の影響がどのように出るか不安材料もある。熱処理業界の動きとしては中京地区の回復が早く、続いて関西地区、中国地区であり、関東地区の回復が遅れている。

【電気機械器具】

⇒ 車載関係は少し戻ってきた。試作案件も出てきたが量産品の生産数はまだ回復していない。年内の受注は見えてきたが年明けは不透明。全体的に戻りつつあるが部材供給がどうなるか不安材料はある。

非 製 造 業

【卸 売 業】

東 部 地 区⇒ 良い業種と悪い業種が明確に分かれている。事務機器、建築、スーパー関連食品卸は良く、広告イベント、包装資材関連は悪い。青果関係では、売上高は前月比で減少、前年同月比で増加。鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。11月は松葉ガニの解禁もあり期待している。

中 部 地 区⇒ 事務機器について、Go To キャンペーン効果で市況もやや回復しつつある。コロナ感染拡大を防ぐためにも、感染防止商品に注力していく。

西 部 地 区⇒ 一部で新型コロナウイルス感染防止対策等による回復感が乏しい。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。

水 産 物⇒ 巻き網漁は極小イワシの混獲漁からハマチ類の水揚げに代わり総水揚げ量は昨年を下回る結果となった。近海魚についてはカレイ・タラ類の底引き網漁は例年通りではあったが、釣りサワラ、イカ類が不漁であっ

た。紅ズワイガニ漁は時化も少なく昨年の2割増に近い水揚げとなった。期待されたGo to トラベル・Go to イートの効果は未だ直接的なものとならず、浜値段は落ち着いた状況で推移している。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、需要量が回復傾向にある一方、市中発生、荷動きが低迷を続けていることから緊張感が増す展開になり、月末に近づくにつれ、国内需給は引き締まる状況となった。古紙市況は、横ばい状態。非鉄金属は、前月と同じく発生が悪いため当面は強含みの見通し。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、少し動きが出てきたがコロナ禍の影響で非常に厳しい。駅前の飲食店とお土産店はGoTo トラベルの影響で消費は上がっているが、地域共通クーポンが使用できる店舗が少なく、電子チケットに対応していない店舗もある。宿泊は満室状態で地元の旅行も多い。飲食店では忘年会シーズンでどれほど盛り返せるか。新型コロナをどこまで抑え込み、また発生した場合もきっちり対応していけるかがポイントになる。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、観光シーズンであるが、コロナ禍の影響で入込客は少なく商店街への回遊客も増えていない。10月4日に「福高祭2020」を実施し、ウィズコロナでの倉吉銀座方式を打ち立て、関係者の支援、協力により約3,000人の来街者があった。新型コロナ新規感染者もなかった。引き続きGoTo 商店街に向かって進めていきたい。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、GoTo 商店街をはじめとする国の支援事業を活用する動き、また、よなごプレミアム商品券も発行され今後の消費拡大に期待している。

境港市の水産物小売は、GoTo トラベル及び9月からの紅ズワイガニのシーズンに入ったこともあり、観光客は徐々に戻ってきている。11月からの松葉ガニの漁期に入ると一層の観光客の増加が見込まれる。感染症対策を行いつつ、売上の回復を目指す。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、GoTo トラベルにより、鳥取砂丘、砂の美術館への観光客が急激に増加した。観光バスツアーも好調で全体的に観光客が増加し例年以上の入込数となった。売上高は前月比、前年同月比ともに増加となり資金繰りは好転した。

米子市のホテル・旅館では、行楽シーズンがスタートし、GoTo キャンペーンも本格化したことから、宿泊客を中心に入込客は増加し、高単価志向へとシフトしたため、前月比、前年同月比ともに売上高は増加し、収益状況も好転した。GoTo キャンペーンの効果は大きく売上増加に貢献しているが、キャンペーン終了後の落ち込みが懸念される。

三朝温泉では、GoTo トラベルにより状況は好転しつつある。予約単価も上昇しているため今後の売上増加も見込める。

大山では、GoTo トラベルにより売上高は、前月比、前年同月比ともに増加した。

【自動車整備業】

⇒ 乗用車の新車販売実績は、普通自動車で前年同月比約49%増加、軽自動車も約28%増加。普通貨物自動車は約3%減少、軽貨物自動車は約50%増加。中古車と継続検査台数は普通車が約3%減少、軽自動車も約2%減少。10月は前年の消費税増税から脱却し大幅改善となっているが、前月比では小幅な減少となっており、コロナ禍の影響、今後の対策・対応が自動車業界に影響を与えてくる。

【建設業】

⇒ 9月の県内公共工事発注は、請負金額117億円（前年同月比5%増）、件数216件（同1%増）。年度累計（4月～9月）は、請負金額684億円（前年同月比5%増）、件数1,108件（同10%減）となり、件数の減少はあるも金額は増加となった。住宅建設でも4カ月ぶりのマイナスに振れ、横ばい圏内で弱含んでいる。今後も公共投資は堅調推移見込めるも設備投資では厳しい状況が続き、改善にはなお時間を要する。

前払金保証取扱から見た県下公共工事の動向（10月）は、件数204件（前年同月比12%減）、請負金額83億円（同31%減）となった。請負金額地区別状況（10月末累計）は、東部地区（前年対比12%増）、八頭地区（同16%減）、中部地区（同25%減）、西部地区（同10%増）、日野地区（7%減）となった。

9月の鳥取県新設住宅着工戸数は215戸（持家181戸、貸家34戸）で、前月比16%減少、前年同月比37%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 製造業などの出荷量は概ね横ばい。青果物、新米の輸送を期待していたが、農産物の輸送が遅れていて相対的に荷物は低調な動きとなっている。復路荷物の情報量も低調で荷物が不足していて非効率な運行が多くなっている。燃料価格は横ばいで推移しているが、収益状況、資金繰りは厳しい。

西部地区⇒ 欧米などでコロナ感染拡大が急速に広がりを見せ始め、輸出関連などは往路復路ともに出荷量は激減した。国内の大手製造業では退職勧奨などの動きが出始め、運賃も先月同様でコロナ禍前には中々戻らないなど物流を巡る環境はますます不透明さを増している。原油価格は少しずつ下落し始めている。11月30日のOPEC総会、12月1日のOPECプラス産油国閣僚級会合の内容を注視したい。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・各種支援等に対する手続等の簡素化。【金属熱処理業】
- ・生産が不安定なため雇用の問題が大きい。【電子部品製造業】
- ・まだまだ中小企業への直接的な支援が必要。【商店街】
- ・ウィズコロナ新時代への挑戦にご支援を。【商店街】
- ・GoToキャンペーンの期間延長を望む。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2019年			2020年										前年との増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売上高	製造業	-10.5	-21.0	-21.0	-42.1	-15.8	-63.1	-78.9	-78.9	-21.1	-26.3	-47.4	5.3	47.4	57.9
	非製造業	-15.7	-15.7	-26.3	-68.4	-21.0	-36.9	-68.4	-52.6	10.5	0.0	-5.2	5.3	0.0	15.7
	全業種	-13.2	-18.4	-23.7	-55.3	-18.5	-50.0	-73.7	-65.8	-5.2	-13.2	-26.3	5.3	23.7	36.9
在庫数量	製造業	-21.1	-10.5	-5.2	-10.5	-21.0	0.0	0.0	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	-10.5	-5.3	15.8
	非製造業	0.0	-16.7	-16.7	-25.0	-8.3	-8.3	-16.7	-8.3	0.0	-33.4	-41.7	0.0	0.0	0.0
	全業種	-12.9	-12.9	-9.7	-16.1	-16.1	-3.2	-22.6	-12.9	-3.3	-16.1	-22.6	-6.5	-3.2	9.7
販売価格	製造業	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	5.3
	非製造業	-5.3	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-21.0	5.3	-26.3	0.0	5.3
	全業種	-7.9	-7.9	-2.6	-13.2	-7.9	-21.0	-18.4	-18.4	-15.8	-13.1	2.6	-15.8	-2.6	5.3
取引条件	製造業	-10.5	0.0	0.0	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	0.0	10.5
	非製造業	0.0	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-21.1	-26.3	-21.1	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	0.0
	全業種	-5.3	0.0	-2.6	-5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-13.2	-13.2	-15.8	-2.7	2.7	0.0	5.3
収益状況	製造業	-26.3	-31.5	-42.1	-42.1	-21.0	-52.6	-47.3	-57.9	-31.6	-21.1	-31.6	-10.5	-15.8	10.5
	非製造業	-10.5	-5.3	-31.6	-52.6	-26.3	-52.7	-73.7	-57.9	-15.7	-5.3	-21.0	-21.0	0.0	10.5
	全業種	-18.4	-18.4	-36.8	-47.4	-23.6	-52.6	-60.6	-57.9	-23.7	-13.2	-26.3	-15.8	-7.9	10.5
資金繰り	製造業	-15.8	-42.1	-36.8	-31.6	-21.0	-36.8	-42.1	-26.3	-26.3	-10.5	-5.3	10.5	0.0	15.8
	非製造業	-15.8	-15.8	-26.3	-26.3	-42.1	-57.9	-63.2	-42.1	-42.1	-36.8	-26.3	-31.6	0.0	15.8
	全業種	-15.8	-28.9	-31.6	-28.9	-31.6	-47.4	-52.7	-34.2	-34.2	-23.7	-15.8	-10.5	0.0	15.8
設備操業度	製造業	-15.8	-15.8	-10.5	-15.8	-10.6	-26.3	-57.9	-42.1	-21.0	-21.0	-15.8	10.6	-5.3	10.5
雇用人員	製造業	-10.5	5.2	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5
	非製造業	-5.3	-10.5	-5.2	-26.3	-15.8	-26.3	-31.5	-31.6	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	0.1
	全業種	-7.9	-2.6	0.0	-18.5	-13.2	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	-5.3	-5.3	-5.3	-2.7	5.2
景 況	製造業	-31.5	-57.9	-52.6	-52.6	-47.4	-57.9	-73.7	-52.6	-57.9	-47.3	-31.6	-26.3	-10.6	20.9
	非製造業	-26.3	-31.6	-42.1	-57.9	-63.2	-57.9	-78.9	-73.6	-47.4	-31.6	-15.8	-31.5	10.5	36.8
	全業種	-28.9	-44.7	-47.4	-55.3	-55.3	-57.9	-76.3	-63.2	-52.7	-39.5	-23.6	-28.9	0.0	28.9

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2019年			2020年										前年との増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売上高	製造業	-36.8	-26.3	-26.3	-15.8	-47.4	-78.9	-78.9	-89.5	-84.2	-84.2	-89.5	-78.9	-52.4	-15.6
	非製造業	-15.8	-26.3	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-73.7	-63.1	-68.4	-73.6	-78.9	-47.4	-5.3	10.5
	全業種	-26.3	-26.3	-36.8	-26.3	-50.0	-65.8	-76.3	-76.3	-76.3	-79.0	-84.2	-63.2	-29.0	-2.7
在庫数量	製造業	-26.3	-10.5	-15.8	-15.8	-26.3	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-5.3	-10.6	-26.3	-26.3	0.0
	非製造業	-16.7	-16.7	-16.7	-25.0	-33.3	-33.4	-16.7	-33.3	-33.3	-25.0	-25.0	-16.6	0.0	16.7
	全業種	-22.6	-12.9	-16.1	-19.4	-29.0	-9.7	-16.1	-22.6	-19.4	-12.9	-16.1	-22.5	-16.1	6.5
販売価格	製造業	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	-21.1	-31.6	-26.3	-26.3	-21.0	-21.0	-10.5
	非製造業	-5.3	5.3	0.0	-15.8	-21.1	-31.5	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-5.3	-5.3	0.0	5.3
	全業種	-7.9	0.0	-2.6	-13.1	-13.2	-18.4	-18.4	-23.6	-23.6	-26.3	-15.8	-13.2	-10.6	-2.7
取引条件	製造業	-10.5	0.0	0.0	-10.5	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-26.3	-21.1	-15.8	0.0	-5.3	5.2
	非製造業	0.0	-5.3	-10.5	-5.3	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-21.1
	全業種	-5.3	-2.6	-5.3	-7.9	-7.9	-21.1	-23.7	-23.7	-31.6	-26.3	-21.1	-13.2	-13.2	-7.9
収益状況	製造業	-42.1	-42.1	-31.5	-47.3	-57.9	-57.9	-57.9	-73.7	-73.7	-78.9	-78.9	-73.6	-63.2	-21.1
	非製造業	-15.7	-31.5	-36.9	-26.3	-47.4	-68.4	-68.4	-73.6	-78.9	-78.9	-84.2	-52.7	-47.4	-31.7
	全業種	-28.9	-36.8	-34.2	-36.8	-52.6	-63.1	-63.1	-73.7	-76.3	-78.9	-81.6	-63.2	-55.3	-26.4
資金繰り	製造業	-26.3	-36.8	-36.8	-26.8	-36.8	-42.1	-47.4	-47.4	-52.6	-52.6	-47.4	-31.6	-36.8	-10.5
	非製造業	-10.5	-15.8	-26.3	-15.8	-36.8	-57.9	-63.2	-68.4	-68.4	-63.2	-68.4	-52.6	-36.9	-26.4
	全業種	-18.5	-26.3	-31.6	-26.3	-36.9	-50.0	-55.3	-57.9	-60.5	-57.9	-57.9	-42.1	-36.8	-18.3
設備操業度	製造業	-15.7	-10.5	5.2	-5.2	-21.1	-31.5	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-42.1	-42.1	-26.4
雇用人員	製造業	10.6	15.8	10.6	5.3	-5.3	-5.2	-21.0	-26.3	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-21.1	-31.7
	非製造業	-5.2	-10.5	-10.5	-21.1	-21.1	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-15.8	-10.6
	全業種	2.7	2.6	0.0	-7.9	-13.1	-15.8	-28.9	-34.2	-29.0	-31.6	-26.3	-26.3	-18.4	-21.1
景況	製造業	-47.4	-57.9	-47.4	-52.6	-57.9	-68.4	-78.9	-78.9	-84.2	-84.2	-84.2	-73.7	-63.2	-15.8
	非製造業	-26.3	-42.1	-31.6	-36.8	-63.1	-73.1	-78.9	-78.9	-78.9	-78.9	-84.2	-73.7	-47.4	-21.1
	全業種	-36.8	-50.0	-39.4	-44.8	-60.6	-71.1	-78.9	-78.9	-81.6	-81.6	-84.2	-73.7	-55.2	-18.4

情報連絡員報告総括表(令和2年10月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 造 業	食料品	2	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0	1	1
	繊維工業	2	1	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	3
	木材・木製品	2	2	0	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	出版・印刷	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0
	化学ゴム																										
業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2
	一般機器	1	0	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	1
	電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0
	輸送用機器																										
	その他																										
非 製 造 業		19	12	4	3	2	14	3	1	16	2	0	19	0	1	14	4	2	15	2	14	3	0	19	0	2	13
		100%	63.2%	21.1%	15.8%	10.5%	73.7%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	73.7%	21.1%	10.5%	78.9%	10.5%	10.5%	15.8%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	68.4%
	卸売業	0	4	2	1	4	1	0	6	0	0	6	0	0	5	1	0	6	0				0	6	0	0	5
	小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0				0	1	0	1	0
	商店街	2	0	2	1	2	1	1	2	1	0	3	1	2	0	2	1	1	2				0	2	2	1	1
	サービス業	3	0	2			1	3	1	1	1	4	0	3	1	1	2	3	0				1	4	0	4	1
業	建設業	1	0	0			0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	運輸業	0	1	1			0	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	1				0	2	0	0	1
	その他																										
		19	7	5	7	2	7	2	15	2	1	17	1	6	7	6	3	13	3				1	16	2	6	9
		100%	36.8%	26.3%	36.8%	16.7%	58.3%	16.7%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	31.6%	36.8%	31.6%	15.8%	68.4%	15.8%			5.3%	84.2%	10.5%	31.6%	47.4%
		38	19	9	10	4	21	5	3	31	4	1	36	1	7	21	10	5	28	5	2	14	3	1	35	2	8
		100%	50.0%	23.7%	26.3%	12.9%	67.7%	16.1%	7.9%	81.6%	10.5%	2.6%	94.7%	2.6%	18.4%	55.3%	26.3%	13.2%	73.7%	10.5%	73.7%	15.8%	2.6%	92.1%	5.3%	21.1%	57.9%

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
	繊維工業	0	0	3	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	0	3	1	0	2	0	1	2	0	2	1	0	1	
	木材・木製品	2	1	1	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	3	
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	
	出版・印刷	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	2	
	一般機器	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	1	
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0		
輸送用機器																												
その他																												
非製造業	卸売業	1	3	2	1	5	0	1	4	1	0	6	0	0	4	2	1	4	1				0	6	0	0	4	2
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1				0	1	0	0	1	
	商店街	1	0	3	1	1	2	0	2	0	2	0	1	3	0	0	4	0	0	4			0	1	3	0	0	
	サービス業	4	0	1			1	4	0	0	3	0	5	0	3	0	2	1	2	2			0	5	0	2	1	
	建設業	1	0	0			1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	1	
	運輸業	0	0	2			0	2	0	0	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1			0	2	0	0	2	
	その他																											
	19	7	4	8	2	7	2	3	13	3	0	15	4	3	4	12	2	8	9				0	16	3	2	6	
	100%	15.9%	15.8%	68.4%	0.0%	73.7%	26.3%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	36.8%	63.2%	5.3%	52.6%	42.1%	5.3%	47.4%	47.4%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	36.8%	63.2%
その他	38	10	7	21	2	21	7	4	26	8	0	33	5	3	11	24	3	18	17	1	9	9	0	31	7	2	13	
	100%	26.3%	18.4%	55.3%	6.5%	67.7%	22.6%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	86.8%	13.2%	7.9%	28.9%	63.2%	7.9%	47.4%	44.7%	5.3%	47.4%	47.4%	0.0%	81.6%	18.4%	5.3%	34.2%	60.5%